

第4次明日香村整備計画について



奈良県

第4次明日香村整備計画の作成経緯・必要性

昭和55年 明日香村特別措置法の制定

第1次整備計画（S55～H1）

生活環境、産業基盤等を総合的に整備



明日香小学校校舎新築[橘]



圃場整備[栗原]

第2次整備計画（H2～H11）

健康で住みよい村づくり



健康福祉センター「たちばな」



総合整備[橘・立部]

第3次整備計画（H12～H21）

歴史風土を創造的に活用



万葉文化館



明日香夢市[島庄]

第1～3次整備計画の成果

■3次にわたる整備計画により、住民生活を支える道路や下水道等の整備水準の向上が図られ、**住民生活の安定と利便性の向上に大きく寄与**

☆アンケート項目： 整備計画による生活環境への効果	平成7年3月アンケート (飛鳥地方の活性化に関する調査)	平成19年6月アンケート (総合計画策定のための住民アンケート)
「とても効果があった」 +「効果があった」	35.7%	60.3%

成果の一方で：

明日香村の課題

- 明日香村は周辺市町村と比べて人口減少や高齢化の進展の度合いが高く、また、農林業の衰退に伴う耕作放棄地の増大等により、明日香らしい景観への影響も懸念。
- 観光客数も年間80万人前後で低迷するなど、地域活力が減退。
- 明日香の価値は、この地において国家基盤が形成されたという歴史そのものにあるが、明日香を訪れる誰もが歴史を体感できる状況にはなっていない。

「明日香村整備基本方針」に基づき

第4次明日香村整備計画（H22～31）を作成

明日香村の概況

明日香村の概要

【沿革】昭和31年7月
高市郡阪合村・高市村・
飛鳥村の3村が合併し誕生

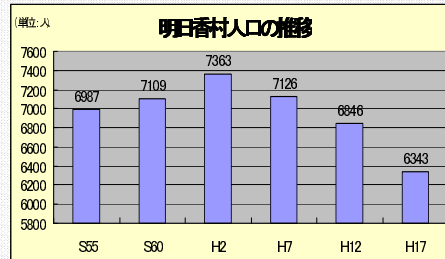
【所在地】奈良県高市郡
奈良盆地の南東部
大阪市から約40km
奈良市から約25km

【面積】約24km²

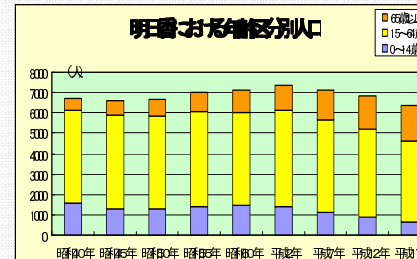


人口

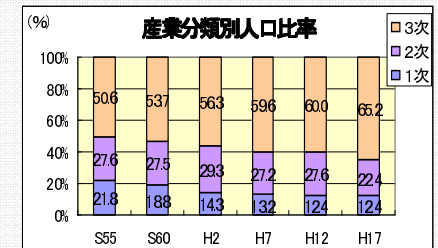
人口減少



少子高齢化

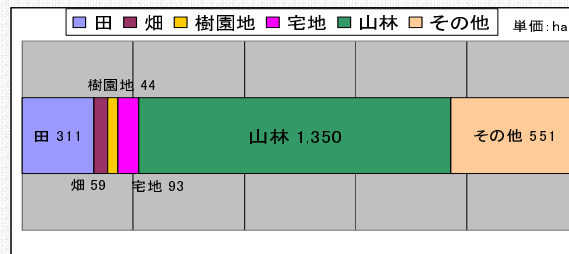


就業構造の変化



土地利用

土地利用形態



土地利用規制

- ・古都保存法
- ・明日香村特別措置法
- ・奈良県風致地区条例
- ・文化財保護法

文化財

明日香村には、宮跡や寺院跡、古墳等が村内全域に分布

史跡 20件(うち特別史跡3件)

石舞台古墳、高松塚古墳、キトラ古墳 など

有形文化財: 重要文化財22件(うち国宝2件)

高松塚古墳壁画、岡寺書院・仁王門 など

第4次明日香村整備計画の基本理念・方向性

歴史展示の推進

我が国の古代国家体制が形成された地である明日香の歴史を、誰もが体感・回想できるよう歴史展示の推進を図る
・平成22年3月に奈良県が策定した「明日香における歴史展示等のあり方基本方針」に基づき、明日香の歴史展示を推進する。

歴史的風土の維持・向上

歴史的文化遺産と周辺環境が一体となった他に類例を見ない貴重な明日香の歴史的風土の維持・向上を図る
・明日香に相応しい景観の形成や、景観阻害要因の改善等により、歴史的風土を良好な形で後世に伝える。

地域活力の向上

「歴史展示」及び「歴史的風土」を活かし、「農」空間の維持・再生や観光・交流振興等の取り組みを進め、明日香村の地域活力向上を図る
・販路拡大等による農林業の活性化や、歴史展示の推進による明日香の魅力発信など観光振興を図るとともに、定住人口の確保にも取り組むなど、地域活力の向上を図る。

生活環境基盤整備の推進

地域活力を支える生活環境基盤整備の推進を図る。
・引き続き道路、河川、都市公園、下水道等の整備を進め、安全、安心して暮らせる豊かな生活環境の整備に取り組む。

第4次明日香村整備計画

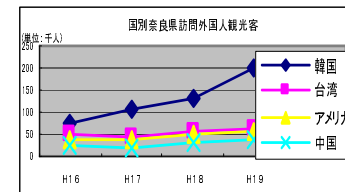
I 国家基盤が形成された地に相応しい歴史展示の推進

明日香の価値
である歴史が
体感できない



飛鳥京跡苑池の現状

- 価値あるものが地下に埋もれており、来訪者にとって明日香の意義や歴史がわかりにくい
- 「歴史物の展示」はあっても、「歴史の展示」が不十分



東アジアから奈良を訪れる観光客は増加傾向にあるが、現地において東アジアとの“ゆかり”に関する情報が乏しい

歴史展示の内容

展示する歴史のテーマを設定し、テーマに即した人物(語り部あるいは中心人物)により、ストーリー性を持った展示内容とし、具体的には、万葉文化館等において、映像や音声等を用いわかりやすく解説する。

平成21年度策定の「明日香における歴史展示等のあり方基本方針」に基づき、平成22年度以降、具体的な展示内容等について検討を行う予定。

歴史展示の手法

歴史展示の拠点施設整備

県立万葉文化館を、「歴史の総合展示施設」及び「明日香のゲートウェイ」と位置づけ所要の整備を実施



奈良県立万葉文化館

遺跡の整備

飛鳥京跡苑池等の飛鳥時代における重要遺跡を整備



飛鳥京跡苑池 (H11発掘説明会での様子)

飛鳥京跡苑池イメージ図 (奈良県立橿原考古学研究所作成)

寺院・遺跡等における歴史展示

寺院・遺跡等の歴史解説の充実、また、コンピュータグラフィックスの活用等による歴史展示の推進

埋蔵文化財の計画的発掘

国・県・村の連携強化による計画的な発掘調査

第4次明日香村整備計画

Ⅱ 歴史的風土の維持・向上

○明日香に相応しい景観の形成

- ・景観条例・景観計画により、きめ細かな規制誘導を行う。
- ・企業やボランティアなど「新たな公」との連携による、里山や河川景観の保全活動を促進する。



ボランティアによる景観形成

○景観阻害要因の改善

- ・景観阻害建築物・工作物を撤去する。
- ・集落内道路の美装化や無電柱化を推進する。



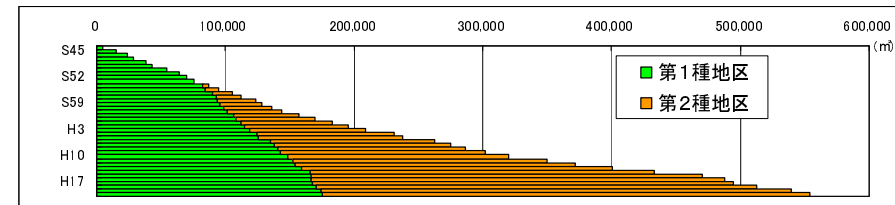
景観阻害物件の存在



道の両側に電柱のある道路

○古都保存法買入地の適正管理

- ・買入地の増加及び広範囲に点在することから、適正な対応が難しい状況にある。
- ・このため、地域の実情に応じたきめ細かな管理活用方策を講じていく。



古都保存法買入地 約55ha (H22.3現在)

農地活用24ha
(行政財政使用許可)

現状管理14ha

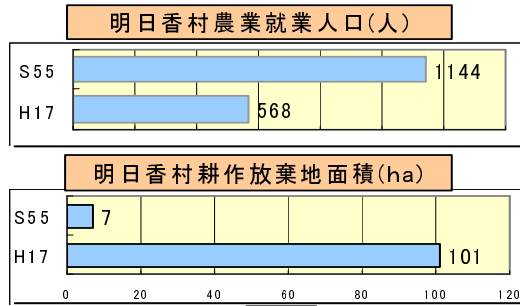
その他
15ha

草刈り15ha

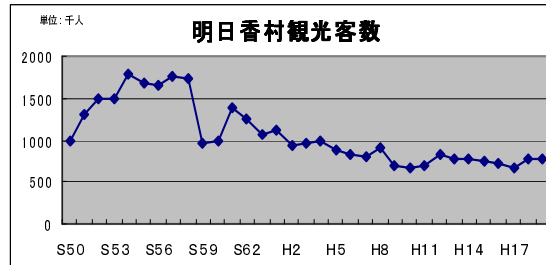
第4次明日香村整備計画

Ⅲ 歴史展示及び歴史的風土を活用した地域活力の向上

明日香を支える「農」の維持・再生

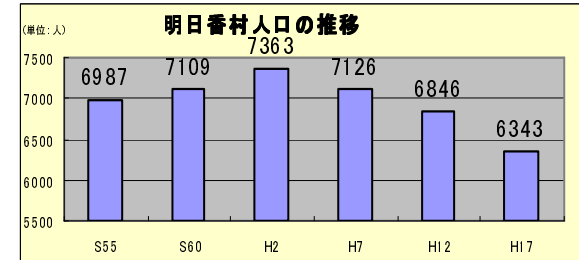


観光・交流の振興



昭和50年代の年間180万人をピークに、現在は80万人前後で低迷

住みたくなる村づくり



□地域産業としての農林業の充実

基盤整備、鳥獣害対策等

□耕作放棄地等への対応

特産品開発、直売施設等

□都市住民との交流による推進

オーナー制度推進、農村体験宿泊交流施設等

□明日香の魅力発信

情報発信機能強化、解説板の外国語表記等

□観光基盤の整備

広域周遊ネットワークの整備、周遊バス運行の確保等

□にぎわいの拠点形成

商業施設の立地誘導、観光イベント開催等

□宿泊観光の推進

□定住対策の推進

空き家バンクシステムの活用

□魅力ある村づくり

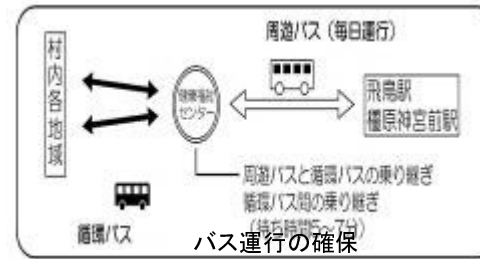
「農」「観光」「文化財」を活用した観光振興、産業誘致



農産物直売所の新設[雷]
(写真は飛鳥駅前の「あすか夢販売所」)



棚田オーナー制の田植え[稲送]



空き家バンクの物件

第4次明日香村整備計画

Ⅳ 生活環境基盤整備の推進

地域活力の向上を図るため、
引き続き、生活環境基盤整備の推進に取り組む

○道路の整備

- ・幅員狭隘区間の解消
- ・広域道路ネットワーク
- ・生活道路ネットワーク



県道桜井明日香吉野線
[石舞台付近の現況]

○河川の整備

- ・歴史的風土との調和に配慮
河川整備
- ・治水安全度の向上



飛鳥川整備イメージ[栢森]

○厚生施設の整備

- ・健康福祉センターのリニューアル
- ・ごみ処理施設の大規模改修



ごみ処理施設リニューアル[畑]

○教育施設の整備

- ・一貫教育に伴う学校施設の
改修や耐震補強
- ・図書・資料館の整備



明日香小学校改修[橘]

○上水道・下水道の整備

- ・下水道、合併浄化槽の整備
- ・簡易水道の再編整備
- ・上下水道の耐震化、老朽化
に対応した整備

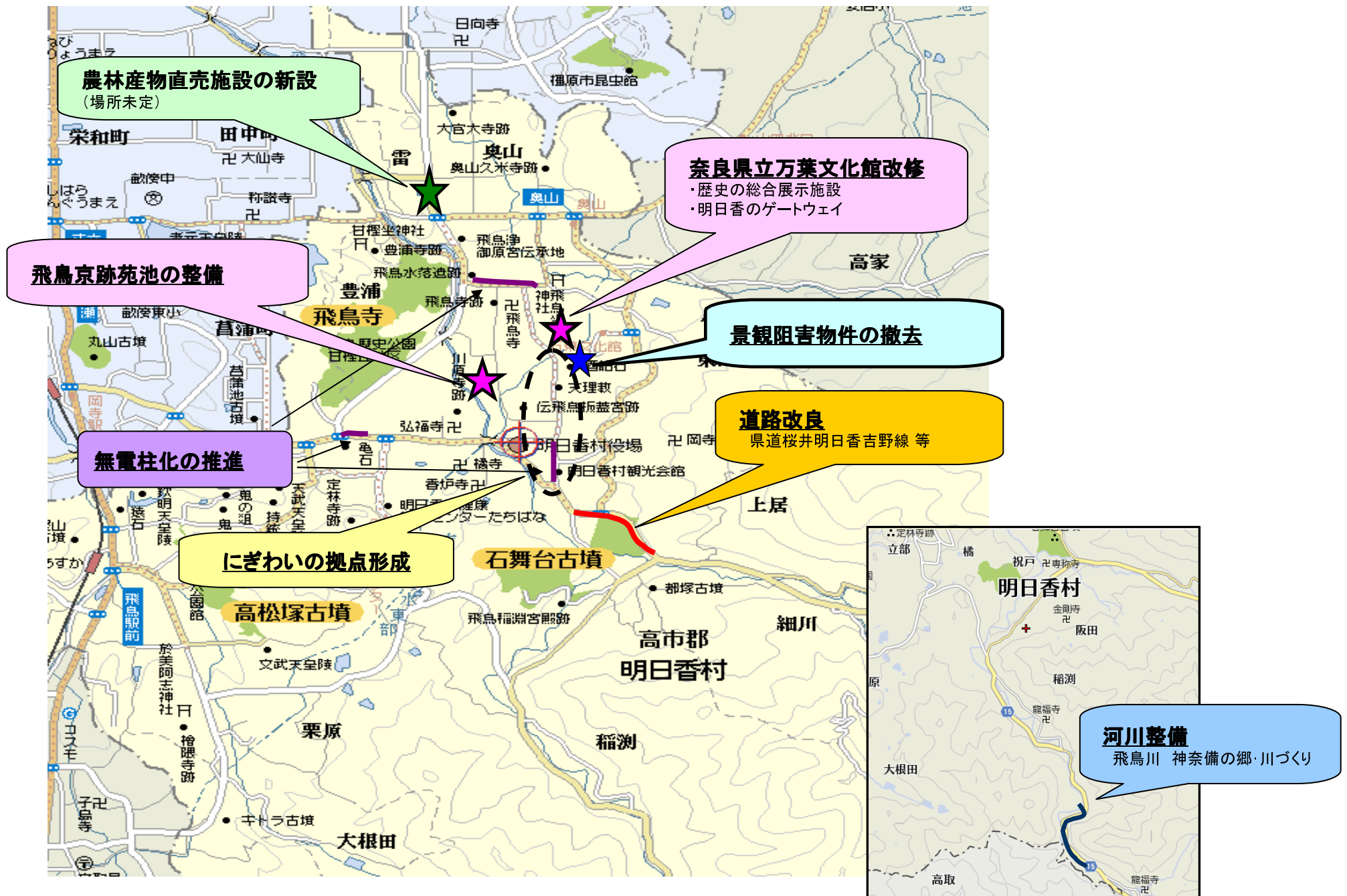
○都市公園の整備

- ・健康増進、生涯学習に寄与
する公園整備

○消防施設等の整備

- ・防火水槽の整備
- ・防災行政無線のデジタル化
- ・防災拠点施設の整備

第4次明日香村整計画の主な事業



第4次明日香村整備計画

VI 計画達成のための推進体制

内部による検証・評価の実施

■毎年、奈良県が中心となって、 第4次明日香村整備計画の事業検証・評価を実施

- 検証・評価の組織(案)... 奈良県・明日香村で構成
- 検証事項 ...事業進捗状況、進捗の妨げとなっている課題整理、その対応策等の検討

必要に応じて、第4次明日香村整備計画を見直す

国・県・村 三者の
連携・協力により

第4次明日香村整備計画の推進